



投資ファンドのMBKパートナーズ、アコーディア・ゴルフ<2131>をTOBで子会社化



アジア拠点の投資会社のMBKパートナーズは傘下のファンドを通じて、アコーディア・ゴルフの完全子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を行うと発表した。株式を非公開化し、ゴルフ場・練習場買収の意思決定スピードを早めるほか、大規模な設備投資を実施するなどしてゴルフ場のブランド価値向上を目指す。買付総額は最大853億円。アコーディア・ゴルフはTOBに賛同しており、TOBが成立すれば東証1部への上場は廃止となる。投資家の村上世彰氏が関係する投資会社のレノ（所有割合9.93%）、村上氏の長女の野村絢氏（同9.87%）ら大株主はTOBに応募することで合意している。

買付主体はMBKパートナーズ傘下のMBKP Resort（東京都港区）。買付価格は1株につき1210円で、TOB公表前営業日の終値1045円に15.8%のプレミアムを加えた。買付予定数は7050万4566株で、下限は66.67%にあたる4700万3100株に設定した。買付期間は2016年11月30日から2017年1月18日。決済の開始日は1月25日。公開買付代理人は大和証券。